＜楠ヶ丘会北京支部　社会貢献活動ご報告＞

日時：　２０１６年１２月２日（金）　１５：００～１６：００

場所：　北京市海淀区行知実験学校　（貧しい農民工で住民票が取れない子供が通う農民工学校）

参加者：　行知小学校の劉校長、生徒代表３０名

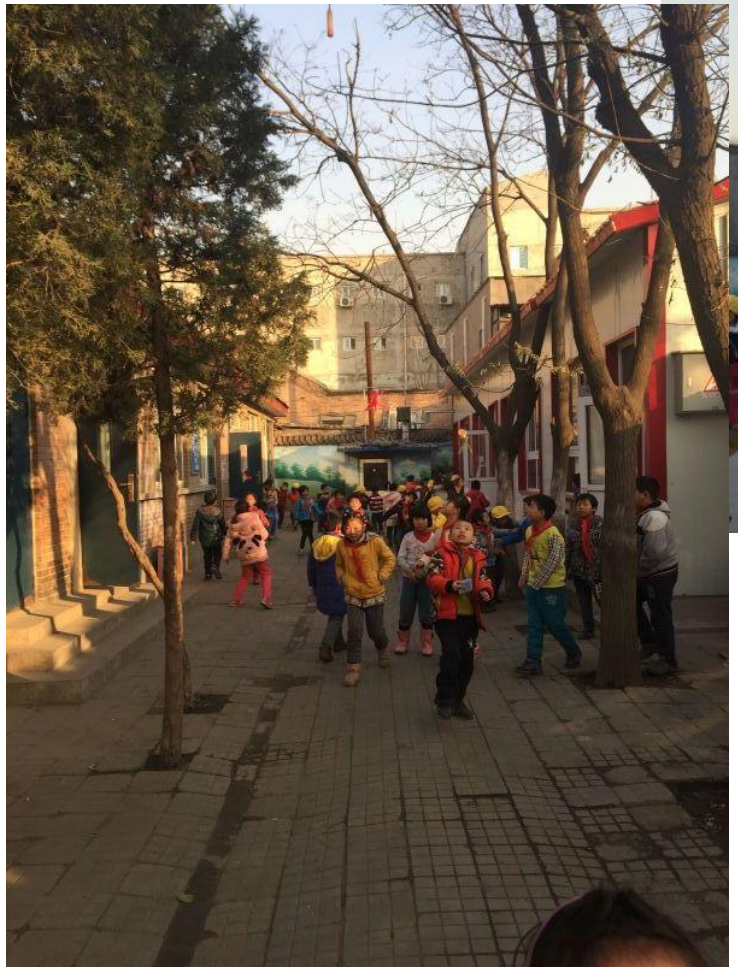
　　楠ヶ丘北京支部の吉見・高橋・伊藤・山下　４名

寄贈品：　電子ピアノ1台、楽譜3冊　（定価約5万円相当）

当日は気温4-5度の冬晴れの良い天気に恵まれました。北京外国語大学の正門に集合し、そこから約30分で学校に到着。放課後前の時間で、先ずは校長先生に挨拶、その後教室を見学。貧しいながらも元気で天真爛漫な子供たちと交流。使われている教科書は一般の公立校と同じ統一テキスト。何と小学1年から英語を学習。ピンインは幼稚園から始めている、との事でした。

比較的新しい多目的教室に寄贈品の電子ピアノを4人で設置、校長先生が各学年の生徒代表を30名ほど集めてくれて、ささやかな寄贈式が始まる。各自が自己紹介をし、20分ほど生徒たちとの交流会。子供たちの多くは河北省や河南省の農村部からの出稼ぎ労働者の子息。遠くは新疆ウイグル自治区からも来ている子も。両親は北京郊外で運転手や清掃夫・店員などに従事、片親だけに着いてきている生徒もいました。電子ピアノの簡単な機能説明の後、高橋さんと伊藤さんが即興でピアノを演奏、『エリーゼのために』など2曲を披露して頂き、生徒たちからは大喝采。6年生の女子生徒も1曲弾いてくれて寄贈式は盛り上がりました。校長先生からも大変感謝され、とても有意義な活動となりました。

日中関係の悪化後、長い間休止状態だった社会貢献活動ですが、これを機に活動を再開し、来年以降も続けていければと願っています。寄付金にご協力頂きました皆様には厚く御礼申し上げます。



校内の風景

校舎は粗末なレンガ造りの
1階建て。
運動場は狭く、コンクリート。

電子ピアノ寄贈式

留学生伊藤さん
（中国科3回生）の演奏

６年生の生徒による演奏

２～４年生
との記念撮影

５～６年生

校門（上）と職員室（下）

下校の様子。校門の外で父兄が出迎え。

〇寄付をお寄せ頂いた皆様

村上信夫 様 （1981年　中国学科卒）
井上明美 様 （1990年　英米学科卒）
野田英樹 様 （1994年　中国学科卒）
松野　卓 様 （2005年　国際関係学科卒）
松野和代 様 （2006年　国際関係学科卒）
高橋幸子 様 （2010年　国際関係学科卒）
仲谷明洋 様 （2013年　中国学科卒）
仲谷結衣 様 （2014年　中国学科卒）
吉見哲哉　　（1986年　中国学科卒）

〇寄贈活動に参加頂いた方々

高橋幸子 様 （2010年　国際関係学科卒）
伊藤綾華 様 （中国学科3回生、北京語言大学留学生）
山下みのり様 （　同上　）